

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化的理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【郡山市立永盛小学校】

1実践テーマ	<input checked="" type="radio"/> I · II · III · IV · V (複数選択可)
2実施対象者 (学年・人数)	6学年 40名
3展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p><input checked="" type="radio"/> ① 教科名 (総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4目標 (ねらい)	スポーツに対する興味・関心を高め、スポーツや運動に進んで親しもうとする児童を育てる。
5取組内容	<p>元須賀川市立博物館長 安藤 清美(あんどう きよみ)氏を講師としてお招きし、「1964東京オリンピックと伝説のランナー円谷幸吉選手」という演題で、6年児童を対象に講演を行った。</p> <p>講師の臨場感あふれる語り口で、福島県ゆかりのオリンピック代表選手の生い立ちからオリンピックでの活躍を聞くことができた。</p> 

6主な成果	<p>郷土にゆかりのあるオリンピック選手の話を聞くことで、郷土愛を育むことができた。</p> <p>また、オリンピックやパラリンピックへの興味や関心を一層高め、また、理解を深めることができた。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>郷土にゆかりのあるオリンピックの選手の話を聞くことで、オリンピックが遠い存在ではなく、より身近な存在であることを実感させた。</p> <p>コロナ禍であることを踏まえ、人との接触を少なくするために体験的な活動は控えた。</p>
8主な課題等	<p>コロナ禍のため、学校行事の時期的な変更が生じ、それに伴い本事業の実施時期もオリンピック閉幕後になってしまった。開催前であれば、一層興味や関心を高められたとは思う。</p> <p>また、オリンピックであることから、実際に体を動かす体験型の実践をすれば、子どもたちにとってより意味の大きなものになったのではないかと思う。</p>
9来年度以降の実施予定	特になし